

私たちの活動や意見を
仲間で共有します
会費は県と日本平和委
員会の活動も支えます

土浦平和の会ニュース

発行：土浦平和の会
事務局：土浦市神立町2664
ホームページ：//heiwatutiura.
web.fc2.com/

引き続き戦争法廃止と改憲阻止 をめざして運動を広げよう！



都知事選野党
統一候補
鳥越俊太郎氏

7月10日に行われた第24回参議院選挙は、多くの方の運動が十分には反映されず、非改選議席を合わせると、与党と改憲政党が3分の2を占める結果となり、衆議院と合わせ、いつでも憲法改憲が発議されてもおかしくない状況となりました。

この結果を受けて、7月14日に開催された「憲法を守り・いかす土浦共同センター」世話人会は、戦争法廃止と改憲阻止の運動をより強く、広く展開する必要があるという認識で一致しました。

また、あらたな情勢に適応した署名活動の

重要性も確認されました。

**県南総がかり行動実行委員会主催
で8.15集会開催**

このような情勢の中、これまで県南地区で集会やパレード、2000万署名を共同で展開してきた「県南総がかり行動実行委員会」は、8月14日（日）に土浦市亀城プラザで、戦争法廃止と立憲主義回復、個人の尊厳を守る政治をめざす茨城市民連合の代表委員による講演会を計画しています。

（詳細は別途お知らせします。）

原爆と人間展

8月2日（火）午後～9日（火）15時
8月6日（土）ピースデイ
中学生平和使節団報告や
映画「母と暮らせば」上映など
入場無料
会場：土浦市役所5階（県南
生涯学習センター）

土浦平和の会や県被爆者協議会等で構成する実行委員会は8月2日（火）午後から9日（火）15時まで、県南生涯学習センターを会場に、恒例の「原爆と人間展」（パネル展示）を開催します。

なお、期間中の6日（土）には、下記内容のピースデイの催しを行います。

①10:30-11:20
朗読とドキュメンタリー映画「生きていてよかった」上映

②13:00-16:45

朗読、被爆者の証言、土浦平和使節団報告、映画「母と暮らせば」上映

午前・午後とも入場無料です。多くの方を誘って参加してください。

なお、駐車場は有料となります。

都内にお知り合いのある方は、都知事選野党統一候補・鳥越さんの支持をお願いしてください。

今年も元気に平和行進 7月9日石岡～荒川沖

国民平和大行進は、7月9日石岡から土浦に入りしました。

当日は雨天のため歓迎集会は亀城プラザに会場を移し、昼食を挟んでの集会では、久松議員の歓迎挨拶のあと、被爆者協議会の黒川さんが長崎で両親、姉妹を亡くした体験をもとに、核兵器の廃絶、戦争のない世の中を願っているとし、毎年行われているこの国民平和

行進は、後世に原水爆や戦争の恐ろしさを伝えていくためにもとても大切であり、高齢化している私たち被爆者の励ましにもなっていると語りました。

さらに、全国通し行進者の木伏さん（宮城原水協）、県内通し行進者の加藤さん（茨城原水協会）からは新たな「被爆者が訴える核兵器廃絶署名」の訴えや平和行進成功に向



東口まで元気よく行進し、つくばコースに引き継ぎました。



けての決意表明がありました。

また、中川土浦市長からのメッセージも紹介されました。集会には50名が参加しました。集会後30名が荒川沖駅



私は医療に20年近くかかわりを持ってきた関係で、一人の命の大切さをいつも心に留めながら運動に携わってきました。安倍政権が昨年成立させた「医療・介護総合法」には心底から怒りを感じています。

憲法25条に「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と書かれています。医療・介護、年金、教育など、国民の暮らしを守り向上させることが政治の役割のはずです。長年にわたって積み上げられた権利が時の政府によっ

リレー随想

憲法25条の徹底を！

ていとも簡単に投げ捨てられるというようなことが許されていいものではないでしょうか。国の予算の使い方がおかしいと感じています。

また「2度と戦争はごめんだ！」と誓った国民が戦争法案に反対し、憲法学者が憲法違反というのを無視して強行採決する強権政治を許すわけにはいきません。

社会保障破壊、原発再稼働、沖縄新基地建設、TPPに反対する国民世論を無視する政治も根っこは同じ民主主義破壊、立憲主義破壊の姿勢から出てくるものだと思います。

「安倍政権許さないぞ！」の国民の声が燃え広がっているのは、あまりにも酷過ぎるという怒りの声です。私たちは決してあきらめません。力を合わせて頑張りましょう。

(井上町子)